

「本校のホームページを開いていただくと、目に飛び込んでくるのは、「**新型コロナウイルスについて**」の**学校の対応**」です。」これは、昨年度の創刊号に使った文章です。現在は、さらに状況が厳しくなっています。「**罹らない努力**」「**広げない努力**」がより必要とされています。

さて、今年度も、本誌で学校の様子をお伝えしていきたいと思えます。



## 令和3年度 着任式・始業式

4月8日（木）に、一学部（病院入院生）は病棟内で、二学部（通学生）は体育館で、着任式・始業式を行いました。

今年度は、11名の先生方が新しく赴任しました。児童生徒代表歓迎の言葉です。「煙樹ヶ浜の海が春の日差しを受けて美しく輝き、校庭を吹き抜ける風は春の香りを運んできます。今日、この場に新しい先生方をお迎えすることになり、うれしい気持ちでいっ

ぱいです。みはま支援学校は松林の中にあり、自然豊かな環境の中で、私たちは毎日勉強に励んだり、文化祭などの行事に取り組んだりして、仲間とともに楽しく学校生活を送っています。最初は、緊張してうまく話せないこともあるかもしれませんが、先生方とともに学べることを楽しみにしています。

これから、どうぞよろしくお願いいたします。」と、送られました。

## 令和3年度 入学式

4月9日（金）には、入学式を行いました。着任式・始業式と同じように、一学部と二学部に分かれて行いました。児童生徒代表歓迎の言葉です。「柔らかな春風に、心華やぐ季節となりました。新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。みはま支援学校は、緑とやさしさがあふれる落ち着いた学校です。生徒の相談に乗ってくれる先生や、笑いが絶えない個性豊かな生徒が多いです。新入生のみなさんは、期待と不安の入り交じった気持ちでいることでしょう。私たちも入学当初は、知らない人ばかりの環境に戸惑っていましたが、しかし、宿泊学習や文化祭などの学校行事を一緒にする中で、少しずつ仲が深まっていき、今では気兼ねなくいろんな人と話ができるようになりました。みんなと打ち解けるまでにかかる時間は、個人差がありますが、楽しい学校生活が送れることでしょう。分からないことがあれば、いつでも聞いてくださいね。新生活をともに楽しみましょう。」と。この言葉は、高等部3年生全員で考えたものと聞きました。

中学部に4名、高等部に12名の入学者を迎え、今年度のみはま支援学校は、小学部2名、中学部14名、高等部38名の合計54名となっています。

